



日本共産党

北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.360 2015.9.9

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## 戦争法案

# 違憲立法は廃案に

### 9・5赤羽駅東口・日本共産党街頭演説に400人

参議院での戦争法案の採決をめぐる緊迫した事態が続く中、5日、赤羽駅東口で日本共産党街頭演説が開かれ、400人が参加しました。のの山けん区議が司会をつとめ、そねはじめ都議、弁護士の山添拓氏、池内さおり衆院議員が訴えました。



池内さおり衆院議員



聴衆の声援に応える、そねはじめ都議(左)ら弁士と、司会の、のの山けん区議(右)



山添拓弁護士

来年夏の参院選で東京選挙区から出馬を予定している山添拓弁護士は、そね都議から紹介を受けた後、「安倍政権は憲法の三大原則、主権在民、基本的人権の擁護、平和主義のすべてを破壊する政治をすすめている。労働者の基本的権利や生活、家族との暮らしを守るためにも、戦争法案に反対し、安倍政権の退陣を求めていきたい」と訴えました。

## 池内さおり衆院議員、山添拓弁護士が訴え

続いて池内衆院議員が「ボロボロになった戦争法案は廃案しかない。8月30日、12万人の国会行動で安倍政権は包囲された。追いつめられているのは安倍政権の側だ。元内閣法制局長官、元最高裁長官もそろって『戦争法案は違憲』だとい、国会審議を通じても憲法違反であることが明瞭になっている。27日の会期末まで、さらに法案阻止のたたかいを広げ、必ず廃案に追い込もう」と訴え、弁士らに大きな拍手が寄せられました。

政府は16日にも参院での強行採決をねらっており、予断を許さぬ情勢が続いています。

# 北区議会第3回定例会はじまる

4日から始まった区議会定例会。初日と7日におこなわれた日本共産党議員団の本会議質問を紹介します。

## ●代表質問 (4日)

山崎たい子議員

# 安心できる介護制度に



山崎議員は冒頭、北区として戦争法案の廃案を求めるよう迫りましたが、区長は「国会を注視する」との答弁に終始しました。今年度から制度開始以来の大改悪となった介護保険の問題では、介護給付から自治体の事業に移される要支援者の総合事業（北区では来年3月移行予定）について「これまでのサービスを継続させるとともに、事業者への報酬単価は予防給付の水準を保障すべき」と求めました。

これに対し区長は、「現在の介護予防相当のサービスを継続する予定」と答弁しました。

## ●個人質問 (7日)

本田 正則議員

# 都市計画道路見直しを



本田議員は、この8月から無人化された十条駅南口改札で、障がい者の利用に影響が出ていることを指摘し、有人対応に戻すよう求めました。

また、防災対策では住宅耐震化への区の支援強化を強く要望しました。

さらに、都市計画道路については、特定整備路線など多くの住民が反対している路線の事業中止・見直しを都に求めるよう要請、策定中の第4次事業化計画においては、長期にわたって未着手・未実施になっている路線は優先整備路線に指定せず、抜本的な見直しをおこなうよう求めました。

## 岩淵児童館 今年度で閉館へ

北区は区議会第3回定例会で、来年3月に岩淵児童館を閉館する方針を明らかにしました。これにともない、現在の児童館機能は赤羽北児童館と志茂子ども交流館に統合するとしています。

区は昨年策定した「子どもセンター及びティーンズセンター配置方針」で、区内25の児童館を乳幼児専用の子どもセンターと、中高生向けのティーンズセンターを併設した子どもセンターに再編・統合し、センター（児童館）数を15～17まで削減する計画を明らかにしました。岩淵児童館の閉館は、その第1号となります。

